

貸借対照表

(2019年3月31日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,156,225	流動負債	662,471
現金及び預金	456,503	買掛金	426,492
売掛金	538,689	リース債務	1,665
仕掛原価	141,880	未払金	74,001
貯蔵品	1,052	未払法人税等	54,955
前払費用	6,286	未払消費税	30,271
その他	11,812	前受金	12,998
固定資産	58,384	預り金	6,484
有形固定資産	4,342	賞与引当金	40,396
工具、器具及び備品	2,158	その他	15,206
リース資産	2,184	固定負債	325,467
無形固定資産	2,827	関係会社借入金	300,000
ソフトウェア	1,737	長期リース債務	693
のれん	1,043	役員株式給付引当金	24,774
電話加入権	46	負債合計	987,939
投資その他の資産	51,213	純資産の部	
関係会社株式	11,500	株主資本	226,669
出資金	6,500	資本金	100,000
差入保証金	6,732	利益剰余金	126,669
繰延税金資産	26,481	利益準備金	9,302
		その他利益剰余金	117,367
		別途積立金	22,500
		繰越利益剰余金	94,867
		純資産合計	226,669
資産合計	1,214,609	負債純資産合計	1,214,609

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛原価	個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）
貯蔵品	最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	工具、器具及び備品・・・定率法 なお、主な耐用年数は、工具、器具及び備品4～6年であります。
無形固定資産	自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。 のれんについては、5年間で均等償却しております。
リース資産	所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価値を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金	債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
賞与引当金	従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。
役員株式給付引当金	取締役株式給付規程に基づく当社取締役への当社株式の交付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

4. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(当期純損益金額)

85,395 千円